

3 初期対応・自立支援の進め方

観点	取組の観点	主たる取組
未然防止	全ての児童生徒	集団指導
初期対応	兆しの見えた児童生徒	個別支援
初期対応	前年度の不登校児童生徒	個別支援
自立支援	不登校を理由に欠席30日以上 の児童生徒	

いじめ・不登校等対策アクション会議でも児童生徒の情報を交流し、対応等を検討します。

これまで通り確実な情報共有、組織的な対応により個別支援を図ります。

○平成28年度の成功例…年度初めの対応が鍵

- 【事例1】前年度不登校だった生徒が、新年度になり登校できるようになった。昨年度末の家庭訪問、春休み中の声かけがうまくいき、新年度はまず相談室登校、次に教室に入れるようになった。
- 【事例2】昨年度適応指導教室に通っていた生徒が新年度から相談室に登校できるようになった。適応指導教室の相談員と一緒に登校し、学校の相談室担当がうまく受け入れた成果。
- 【事例3】小学校で不登校傾向だった生徒が中学生になり登校できるようになった。保護者と毎日話し合ったり、行事を節目として本人が見通しをもって登校できるよう働きかけたりした成果。

○さらに成功例を増やすために 不登校の要因をとらえ、組織的な取組をしましょう。必ずSC等専門家の意見を取り入れましょう。関係機関との連携を図りましょう。

	不登校の様態(要因)	様態に応じた対応
A	いじめに起因する	<不安感、不信感を取り除くための継続的な相談活動> ①不安感、不信感を取り除く家庭訪問 ②保護者との信頼関係づくり ③仲間づくり
B	いじめを除く他の人間関係に起因する	
C	教職員との関係に起因する	
D	学校生活上の問題	
E	遊び・非行型	<将来への生き方についての継続的な家庭訪問と相談活動> ①信頼関係を築き、登校を促す家庭訪問 ②保護者との信頼関係づくり ③交友関係の改善
F	無気力型	<具体的な生活目標についての継続的な相談活動> ①積極的な家庭訪問 ②保護者理解と協力 ③友達からの働きかけ
G	不安など情緒的混乱	<関係諸機関と連携し、話題を工夫した継続的な相談活動> ①状況に応じた家庭訪問 ②保護者への心のケア ③友達の温かい関わり
H	意図的な拒否	<拒否している事柄についての必要かつ可能な見直しと丁寧な相談活動> ①学校教育に対する保護者理解の獲得 ②継続的な家庭訪問 ③友達との交流
I	その他	複合型等